

# 子育ての昔と今

子育てに関する情報は時代と共に変化・進歩しています。世代によって常識が異なることも生じてきます。常識の違いを知っていればスムーズに子育てに協力できます。



## 昔は？

- “抱きぐせ”をつけると、赤ちゃんは抱っこを求めてしょっちゅう泣くようになる。



### 抱っこ

- 母乳より育児用ミルクの方が栄養があるといわれていたことも。また、入浴後に白湯を飲ませる人もいた。

- 授乳は「3時間おき」に行い、「1歳までに断乳」と母子手帳に記載があった。

※断乳→ママのリードで授乳期をおわらせること。

### 母乳

- 5か月ごろからスタート。食べ物をみせて口を開ける頃がタイミング。「離乳食は卵から」という考え方もあった。

### 離乳食とアレルギー

- 大人のかみ砕いた食べ物を赤ちゃんに与えたり、箸やスプーンを共有することも多く、大人の持つむし歯菌が赤ちゃんにうつるということがおきていた。

### むし歯予防

## 今は？

- 抱っこがくせになることはない。“抱きぐせ”は気にせず赤ちゃんが求めている時はしっかりと抱っこを。



- 母乳だけでも、不足分をミルクで補っても発育に問題ないようです。

- 基本離乳食がスタートするまでは白湯や他水分は必要ないと言われています。

- 授乳は赤ちゃんが欲しがった時に。終了時期は赤ちゃんが自然とはなれるタイミングで。これは「卒乳」と表現されることもあります。

- 5～6か月頃からスタート。赤ちゃんのペースにあわせて。現在はベビーフードも豊富にあるので活用してみても？また、食物アレルギーの症状を示す赤ちゃんが増えているため卵や乳製品は様子をみながら少しずつ。

- 生まれたばかりの赤ちゃんにはむし歯菌はいません。箸やスプーンを共有することで大人からうつることがわかってきました。共有せず食べましょう。また、定期的に歯科検診を受けて口の中をチェックしましょう。